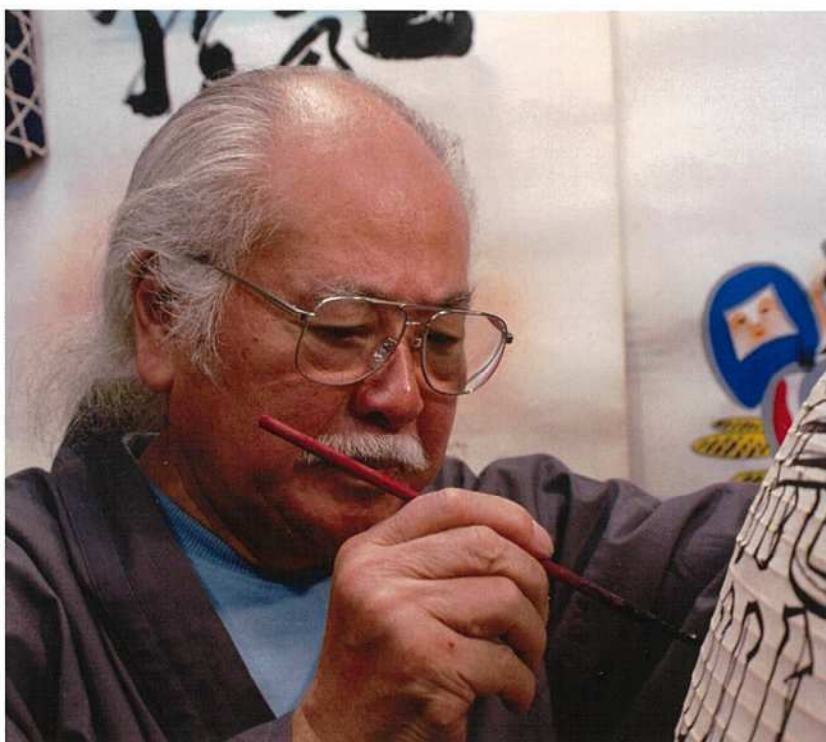


伝統に生きる

— あらかわの工芸技術 —



ちょうちんもじ

提灯文字

まえもりひでよ

前森 英世

(平成23年度作品)

ビデオ・DVD

カラー・25分

プロフィール

住所 荒川区荒川6丁目28番7号
昭和10年(1935年)福島県石川町生れ
平成22年度、荒川区指定無形文化財保持者に認定される

前森さんは、昭和36年に上京し、提灯文字職人の前森重左衛門氏のもとで技術を修得した。同46年に先代の死去後、前森さんが跡を継ぎ、現在に至る。

提灯作りは、提灯を張る作業と、火袋ひぶくろに文字や家紋を描く作業とで分業化されている。前森さんは提灯問屋から仕入れた火袋に文字や家紋などを描き、枠などの付属品を取り付けて提灯に仕上げるところまでを行う。主に高張提灯と弓張提灯を扱い、都内はもちろん、問屋を通して各地からの注文に答えている。提灯文字の技術は、冠婚葬祭などの儀礼や商店の看板用など、地域と密接に結び付き、欠くことのできない技術として大変貴重である。

企画・著作 荒川区教育委員会

制作 株式会社 文化工房

[用具・工具・材料]

「用具・工具」

木炭(柳製)、筆、分回し、つっぱり、^{きり}錐、ラジオペンチ、金槌、刷毛、家紋見本帳

「材料」

ひぶくろ
火袋(和紙張り/ビニール張り)、^{あまにゆ}枠、くさり・弓(弓張用)、亜麻仁油
水性塗料(和紙用)、アクリル塗料・塩化ビニール樹脂塗料(ビニール用)



[工程] - 高張提灯の場合 -

- ① つっぱりで火袋を広げた状態に固定する。
紙にシワがよっている場合は、一旦、霧を吹いて乾かし、シワを伸ばす。
- ② 木炭で文字・家紋の輪郭を下書きする。
家紋は家紋見本帳を見本とする。
必要に応じて、円を描く道具である分回しも使う。
- ③ 細い筆で下書きした輪郭線を筆で書く。(素書き)
- ④ 輪郭のなかを筆で塗り込んで文字・家紋を仕上げる。(中塗り)
なお、提灯に地色をつける場合は、文字や家紋を仕上げた後、周りを塗り込む。
- ⑤ 枠付けをして仕上げる。
(弓張提灯の場合は、くさり・弓も取り付ける。)
- ⑥ 外に飾る場合は、防水加工として、仕上げた提灯の火袋部分に刷毛で亜麻仁油をひいて、乾燥させる。



「ビデオテープ・DVD」

荒川区の図書館で貸し出しています。貸し出し期間は、1回8日間です(図書資料扱いのため)。
また、ビデオテープは荒川ふるさと文化館1階郷土学習室で視聴できます。

問い合わせ先

■ 内容等に関すること

荒川区立荒川ふるさと文化館・・・3807-9234

- 荒川区ホームページ内「あらかわまなびプラザ」
<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/arapura/index.html>

■ ビデオテープ、DVD 貸し出しに関すること

南千住図書館・・・3807-9221 町屋図書館・・・3892-9821
荒川図書館・・・3891-4349 日暮里図書館・・・3803-1645
尾久図書館・・・3800-5821
汐入図書サービスステーション・・・3807-8130
冠新道図書サービスステーション・・・3800-3321

- 荒川区立図書館ホームページ <http://www.library.city.arakawa.tokyo.jp/>